|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **（１）　火災発生時の対応** | | | | | 指導時期等 | 主な  指導  場面 | 指導資料 |
| No | | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 | |
| ② | | 火災が発生したときの初期消火の仕方を知る。 | 2) | 火事を見つけたときは大声で「火事だ」と叫ぶ。 | ○ | 行 |  |
| ④ | 火災が発生したときの避難の仕方の基本について身に付ける。 | | 6) | 学校や人がたくさん集まる場所で火災に遭遇したときの避難の仕方「お・は・し・も」を知る。(おさない，はしらない，しゃべらない，もどらない） | ○ | 行 |
| ⑥ | 火災において，一酸化炭素や有毒ガスが発生した場合，非常に危険であることを知り，避難に活かす。 | | 6) | 避難の時は体勢を低くして，口や鼻をハンカチやタオルで覆う。 | ○ | 行 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **（２）火災予防の事前対応** | | | | 指導時期等 | 主な  指導  場面 | 指導資料 |
| No | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 | |
| ② | 火災予防に対する社会の取組について知り，自分ができることを考え実行する。 | 6) | 宮城県には幼年消防クラブ，少年消防クラブが組織され，平成24年5月1日付けで440団体33,094人が所属している。 | → | 行 |  |

指導時期：**○**機会を捉えて指導する時期，**→**継続指導の時期，**◎**重点的に指導する時期，**◇**再確認させる時期

指導場面：**教**＝教科等，**H**＝HR等，**行**＝学校行事，**部**＝部活動等，**日**＝日常

凡

例